

インターネット上の 「性的グルーミング」に注意

性的グルーミングは、わいせつ目的で成人が子どもに友好的な関係を装って信頼を築きながら子どもを懐柔し、抵抗力を低下させたのち、徐々に性的な話題や要求を持ち出す一連の行動のことをいいます。昨今、インターネットを介した性的グルーミングの被害が増えています。

本年7月から「16歳未満の者に対する面会要求等の罪」が新設され、わいせつ目的での面会を要求する行為も処罰の対象となりました。



性的グルーミングの例

性的グルーミングの例として、以下のようなケースがあります。

- ・オンラインゲーム内の協力プレイで子どもに近付き、繰り返し一緒に遊ぶことでチームメイトとして信頼を得た上で「ゲームの外でも情報交換しよう」と個人情報を引き出し、直接やり取りするようになる。
- ・SNSを通じて子どもの投稿に毎回到コメントしたり、「いいね」を付けることで親近感を持たせ、ネガティブな投稿があれば「何かあった？相談に乗るよ？」と頼れる人を装って信頼を得て、直接会う機会を作ろうとしてくる。

子どもも最初は警戒するものの、接触を繰り返すうちに相手に親しみを持ち、やがて加害者のコントロールに従ってしまいます。

自覚がないまま被害者に…

性的グルーミングの怖いところは、子どもは自分が被害に遭っていると思えないように仕向けられているところにあります。性的グルーミングを受けると子どもから見て加害者が「信頼できる大人」になるので、身近な大人の言う「インターネットで知り合った知らない人に会いに行ってはいけない」という指導についても「（加害者は）もう知らない人じゃないから」という理由で誘い出されてしまうのです。また、被害に遭っているという意識が無いため、問題が起こってもそれが表に出てくるのが遅くなる危険性があります。



※グルーミングは本来「（動物の）毛づくろい」を指す言葉です

家庭での対応

子どもを性的グルーミングから守るためには、普段から日常生活の話題だけではなくインターネット上の出来事も話せるような信頼関係を作っておくことが大切です。そして、子どもから「知らない人」の話が出た場合もすぐに批判せず、一旦受け止めた上で状況を把握するようにしましょう。頭ごなしに批判してしまうと、警戒してその話題を持ち出さなくなったり、何かあっても子どもから相談しにくい状況を作ってしまう懸念があります。また、子どもとの対話の中で小さな変化にも目を向け、何かあったすぐ相談してほしいということを繰り返し伝えておくことが効果的です。